

# 「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価 ～ PDCAサイクルが機能する実践から ～

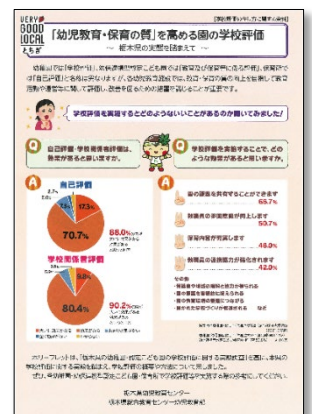


学校評価の取組が子どもの育ちを支えます

学校評価は、園の教育・保育の質を高め、保護者や地域に信頼される園運営を進めていくために、欠かせないものです。

令和3年度幼児教育調査研究により、栃木県は学校関係者評価の実施率が低く学校評価が効果的に機能していないことが明らかになりました。学校評価を園の教育・保育の質の向上につなげるためには、学校関係者評価を含めたPDCAサイクルの構築が必要です。

そこで、園の教育・保育の質を高める学校評価の具体的な内容や方法について、研究協力園の実践を中心に紹介します。各園の学校評価の取組の参考にしてください。



令和3年度幼児教育調査研究  
「学校評価の在り方に関する資料」



## は じ め に

現在、我が国において、人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化やデジタル化の進展、自然災害の頻発化・激甚化など、私たちを取り巻く環境が著しく変化しています。また、教育現場においても、子どもの貧困やいじめ・不登校などに加えて、新型コロナウイルス感染症やICT教育への対応など、多くの複雑な課題が山積しています。

しかし、子どもを取り巻く環境がいかに変化しようとも、子どもたちが豊かな心を育み、生涯にわたって、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を育むことが重要であり、幼児教育にはその基礎を培うことが求められています。

本県におきましては、「幼稚園・保育所・小学校間の連携を図りながら、豊かな人間性や『生きる力』の基礎を培うとともに、幼児期から学童期への円滑な成長と、幼児教育の環境整備を目指す」という趣旨の下に、平成14年4月に「栃木県幼児教育センター」が幼児教育行政の中核として開設されて今年で20年になります。

幼児教育センターでは、これまで幼稚園・こども園・保育所・小学校の教職員の相互理解を図る合同研修をはじめ、各市町を支援する「とちぎの幼小カリキュラム接続プロジェクト」や「教育・保育アドバイザー事業」、家庭教育を推進するための幼児教育情報誌「おうち」の発行など各種事業を展開してまいりました。

また、栃木県教育委員会では、令和3年2月に策定した「栃木県教育振興基本計画 2025」の「基本施策5 確かな学びを育む教育の充実」において、「学びの基礎を培う幼児教育の充実」を掲げ、本県の目指す幼児教育に向けて主な取組を示しています。その中で「教育の質の向上に向けた学校評価の確立」を挙げています。園の教育・保育の質を確保し、保護者や地域から信頼される園づくりを進めていくために学校評価は欠かすことのできない重要なものです。

各園では、教育活動や園経営についての自己評価と、それを踏まえた学校関係者評価を実施し、その結果をカリキュラム・マネジメントと関連付けながら教育活動等の改善に活用することが求められています。

そこで、研究協力園の実践を中心に、「PDCAサイクルの構築を目指した学校評価」の具体的な内容や方法について「学校評価の在り方に関する資料」をまとめました。本冊子が昨年度の幼児教育調査研究リーフレット「『幼児教育・保育の質』を高める園の学校評価～栃木県の実態から～」と併せて、各園の教育活動の向上と保護者や地域から信頼される園経営に御活用いただければ幸いです。

最後に、本調査研究を進めるにあたり、御協力をいただいた委員の皆様には深く感謝申し上げます。

令和5年3月

栃木県総合教育センター 所長  
大高 栄男

# 目 次

## I 学校評価について

学校評価の全体像のイメージ	2
学校評価におけるPDCAサイクルのイメージ	3
学校評価の目的と形態	4

## II 学校評価の具体的な内容や方法

第II章の見方	6
---------	---

### 〔自己評価〕

1 重点目標の設定	7
2 評価項目の設定	8
3 重点目標を意識した教育活動の実施	9
4 自己評価の実施、結果の公表	10

### 〔学校関係者評価〕

5 学校関係者評価委員の選定・依頼・委嘱	11
6 学校関係者評価委員会の開催	12
7 評価結果の取りまとめ・公表、設置者への結果報告	14
8 次年度への重点目標への反映	14

## III 取組事例

那珂川町立ひばり認定こども園	16
さくら保育園	17

参考文献・付録	18
---------	----

幼稚園は「学校評価」、幼保連携型認定こども園は「教育及び保育等に係る評価」、保育所は「自己評価」と名称は異なりますが、ここでは「学校評価」と統一して表記します。



# I 学校評価について

# 学校評価の全体像のイメージ

学校評価の全体像のイメージを下図のように示しました。番号の内容について、認定こども園愛泉幼稚園の実践を基に具体的な内容や方法を紹介します。

時期	流れ	自己評価	学校関係者評価	
3月	A 改善 P 計画 評価の準備 目標等の設定	1 ○改善の話合い 2 ○重点目標の設定 → 評価項目の設定	5 ○学校関係者評価委員の構成の検討 → 依頼、委嘱 ○評価活動計画の策定	
4月	3 教育活動の実践及び見直し	重点目標を保護者と共有する。(保護者会での説明、ホームページへの掲載等)	6 ○第1回学校評価委員会の開催 ・重点目標や取組状況などの説明  ○第2回学校評価委員会の開催 ・保育の公開 ・中間評価の結果や改善策などを議論し、必要な情報を収集(10月～12月ごろ)  ○第3回学校評価委員会の開催 ・自己評価を基に、重点目標や取組に対する成果や課題の説明 ・委員からの意見聴取	
5月		D 実行 ○重点的な目標等を十分意識した教育活動の実施		
6月				
7月				
8月				
9月				
10月		○必要に応じて中間評価を実施する。(10月～12月ごろ)		○第2回学校評価委員会の開催 ・保育の公開 ・中間評価の結果や改善策などを議論し、必要な情報を収集(10月～12月ごろ)
11月		重点目標や取組状況を中心に、保護者アンケートを実施し、その結果を公表する。		
12月	4 ○自己評価の実施→公表	7 ○評価結果の取りまとめ→公表 ○設置者への結果報告		
1月	○設置者への結果報告			
2月	C 評価 評価公表	○話し合い	8 ○結果を基に改善、次年度の重点目標へ反映	
3月	A 改善 次年度の評価の準備			
4月				

自己評価は、教職員個人の評価ではなく、教職員全体で行う自園の評価です。

園においては、課題に対する改善点に対し、組織的に対応することが求められています。課題を園全体で共有し、全教職員が専門性を生かし、協働して対応していくことで、実効性の高い学校評価の実施につながりますね。

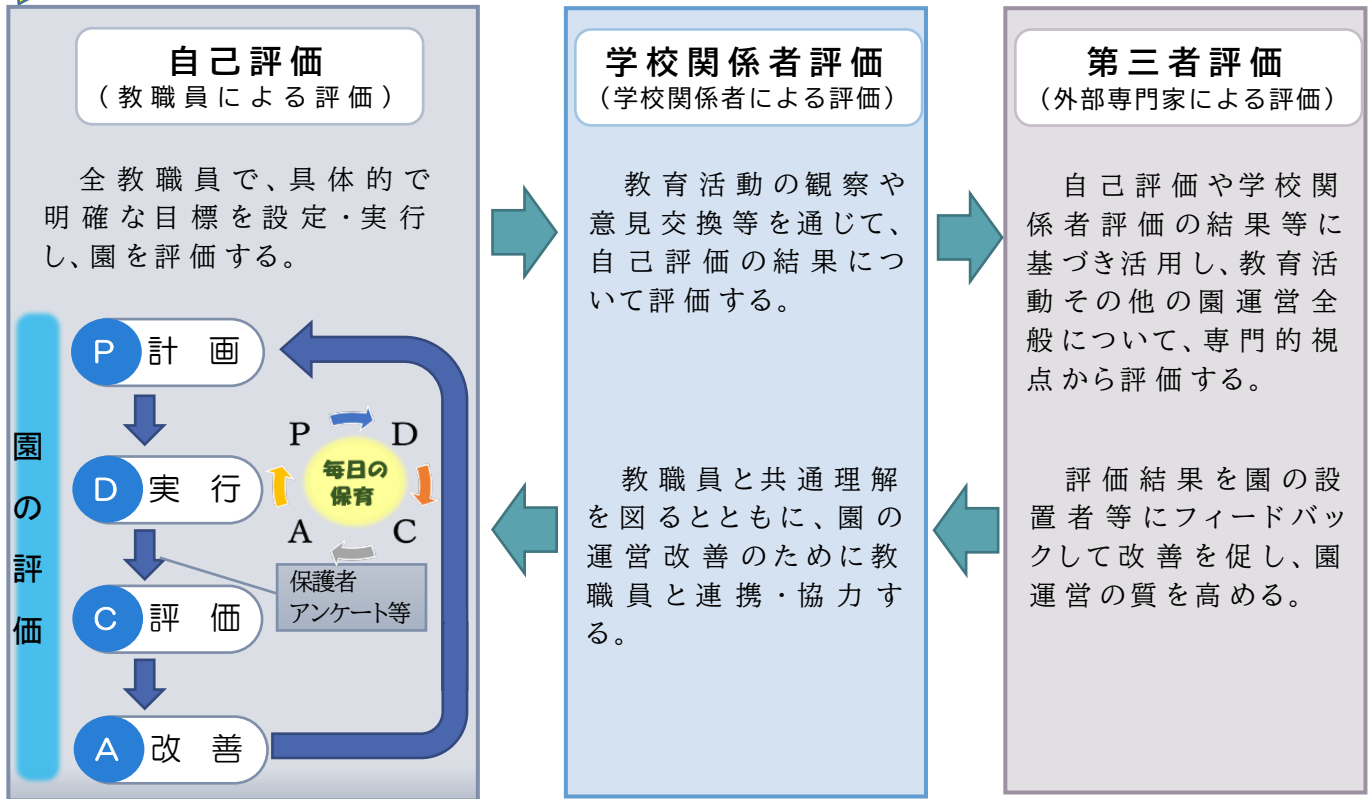
ここが  
大切!



# 学校評価におけるPDCAサイクルのイメージ

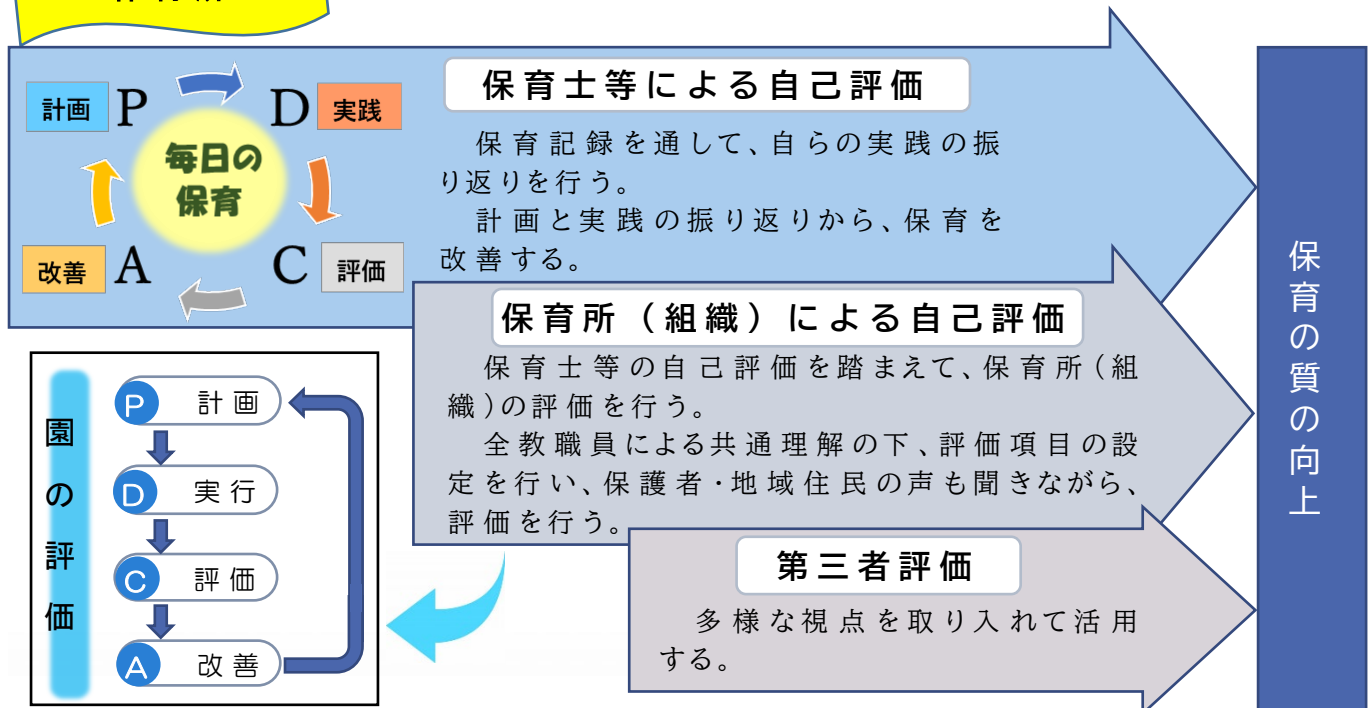
園の教育・保育の質の向上のためには、カリキュラム・マネジメントが必須です。そのため、PDCAサイクルに基づいたカリキュラム・マネジメントを意識しながら学校評価を実施することが大切です。

## 幼稚園・こども園



## 保育所

※保育所の「自己評価」は、保育士等(個人)及び保育所(組織)が自らの保育内容等について行う評価です。



# 学校評価の目的と形態

文部科学省「幼稚園における学校評価ガイドライン〔平成23年改訂〕」（平成23年11月15日）において、学校評価について以下のように示されています。

## 学校評価の目的

- ・ 各学校（園）が、自らの教育活動その他の学校（園）運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校（園）として組織的・継続的な改善を図ること。
- ・ 各学校（園）が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校（園）・家庭・地域の連携協力による学校（園）づくりを進めること。
- ・ 学校（園）の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校（園）に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

## 学校評価の形態

【自己評価】	各学校（園）の教職員が行う評価
【学校関係者評価】	保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価
【第三者評価】	学校（園）とその設置者が実施者となり、学校（園）運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、自己評価や学校関係者評価の実施状況を踏まえつつ、教育活動その他の学校（園）運営の状況について専門的視点から行う評価



## Ⅱ 学校評価の具体的な内容や方法

## 第Ⅱ章の見方

第Ⅱ章 P 7～P 14 は以下のように構成しています。

P2の「学校評価の全体像のイメージ」の図中の番号と連動しています。

各項目の概要を記しています。

四角囲みには、研究協力園の実践を紹介しています。

### 2 評価項目の設定

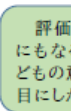
学校評価は、評価項目を重点目標と関連付けながらバランスよく設定する。育課程の実施状況」「教職員の育成や組織運営」「開かれた園運営」など、全体を見渡せるものになります。十分に話し合うことで、教職員が自らの保育や業務を振興としての自覚をもつことにつながります。

#### 重点目標

- ・健康な心と身体を育もう
- ・様々なことに興味・関心をもち、意欲的に挑戦できるようにしよう
- ・自分の気持ちを伝えられるようにしよう(言葉による伝え合い)



やっぱり、子どもたちが元気に登園できることが一番ですね。



評価項目が保育の視点にもなるから、安全面と子どもの意欲を意識できる項目にしたいよね。



#### 重点目標に対する評価項目

- ・コロナ禍の中で子どもたちの健康と保護者の安心・安全を守っているか
- ・子どもたちの興味・関心を保育に生かすことができているか
- ・マスクをしている中で、コミュニケーションを積極的にとれているか



自己評価を始めた時は「私立幼稚園の自己評価と解説」(フレーベル館 2006)を参考に、膨大なチェック項目を使っていました。内容を精査し検討しながら、継続できる自己評価となるように改善し、現在は、チェックシート形式ではなく、文章表記にしています。その後、面談を行い、管理職と主任等がまとめたものと日頃の教育活動の振り返りを基に、教職員で話し合い、園の自己評価ができるようにしています。評価に客観性をもたせるように取り組んでいます。

#### 他園では!

全教職員が集まって評価項目設定の検討をするのは、日々の業務上難しいので、ワークシートを使って全教職員の意見を集約し、それを基に評価項目を設定しました。(那珂川町立ひばり認定こども園)

独自に作成した「さくら保育園スキルチャート」を用いて保育士等(個人)の自己評価を行っています。保育所保育指針の改定ごとに、項目の見直しを重ねています。(さくら保育園)

ここがポイント!

文部科学省「幼稚園における学校評価ガイドライン〔平成23年改訂〕」に評価項目等を検討する際の視点が示されており、参考になりました。また、評価項目を精選し、設定することが大切です。



面取りの四角囲みには、他園の取組事例を紹介しています。

特に大切なポイントについて、ぴよちゃんが解説しています。

※ぴよちゃんは、栃木県幼児教育センターマスコットです!!


# 自己評価

学校評価の基本は、教職員による自己評価です。自己評価においては、PDCAサイクルを通して、よりよい教育を目指していくことが大切です。評価をまとめる際には、保護者アンケート等の結果なども活用します。

## 1 重点目標の設定

学校評価の実施においては、教職員間で園における学校評価の意義や目的を確認し、組織的・主体的に取り組むことが大切です。


まずは、重点目標を設定することから始まります。日々の保育、行事等を振り返り、保護者アンケートの結果から見えてきた共通の課題等を集め、今年度、特に重点的に取り組むことを決め、それを目標とし、園全体で共有します。



教育目標や保育方針などを教職員全体で改めて確認し、前年度の学校評価の結果や園の喫緊の課題から、今年度の重点目標を検討しています。園の方針・理念など、長期的に変わらない目標項目とその年度の子どもの状況に合わせて設定する短期的な目標項目を設定することで見えてくる課題があることが分かりました。


園長

教職員との話し合いから…




感染症の流行で、どうしても活動に制限がでちゃうんだよねえ…。

A先生




そうそう。家でも外遊びの機会が減っているみたい…。園で体を動かす経験をたくさんさせてあげないとね。

B先生




それと、マスクを着けていることでコミュニケーションが思うようにとれていないことも心配…。体だけでなく、子どもたちの心にも影響が出てきそうで…。

C先生




そうだよ。だったら、今年度は、「自分の気持ちを伝えられる」ということを目標に加えるのはどうかなあ。

D先生



**今年度の重点目標は、これ！**

- ・健康な心と身体を育もう
- ・様々なことに興味・関心をもち、意欲的に挑戦できるようにしよう
- ・自分の気持ちを伝えられるようにしよう(言葉による伝え合い)



教職員の検討を基に、今年度の重点目標を上記の三つにしました。全教職員で共有するとともに、保護者、地域、そして学校関係者にも園便りやWebサイト等で発信しています。

園長

ここが  
**大切！**

重点目標の設定は、園長等の管理職が設定する傾向にあります。園長のリーダーシップの下、教職員が日頃の保育で感じている課題等を共有、集約し、重点目標の設定に反映できるような園内体制を構築していくことが園全体での取組につながりますね。



## 2 評価項目の設定

学校評価は、評価項目を重点目標と関連付けながらバランスよく設定することによって、「教育課程の実施状況」「教職員の育成や組織運営」「開かれた学校（園）としての園運営」など、全体を見渡せるものになります。

その際、教職員間で十分に話し合うことで、教職員が自らの保育や業務を振り返り、組織の一員としての自覚をもつことにつながります。

### 重点目標

- ・健康な心と身体を育もう
- ・様々なことに興味・関心をもち、意欲的に挑戦できるようにしよう
- ・自分の気持ちを伝えられるようにしよう(言葉による伝え合い)



A 先生

やっぱり、子どもたちが元気に登園できることが一番ですね。



評価項目が保育の視点にもなるから、安全面と子どもの意欲を意識できる項目にしたいよね。



C 先生

### 重点目標に対する評価項目

- ・コロナ禍の中で子どもたちの健康と保護者の安心・安全を守っているか
- ・子どもたちの興味・関心を保育に生かすことができているか
- ・マスクをしている中で、コミュニケーションを積極的にとれているか



園長

自己評価を始めた時は「私立幼稚園の自己評価と解説」(フレーベル館2006)を参考に、膨大なチェック項目を使っていました。内容を精査し検討しながら、継続できる自己評価となるように改善し、現在は、チェックシート形式ではなく、文章表記にしています。その後、面談を行い、管理職と主任等がまとめたものと日頃の教育活動の振り返りを基に、教職員で話し合い、園の自己評価ができるようにしています。評価に客観性をもたせるように取り組んでいます。

### 他園では!

全教職員が集まって評価項目設定の検討をするのは、日々の業務上難しいので、ワークシートを使って全教職員の意見を集約し、それを基に評価項目を設定しました。  
(那珂川町立ひばり認定こども園)

独自に作成した「さくら保育園スキルチャート」を用いて保育士等(個人)の自己評価を行っています。保育所保育指針の改定ごとに、項目の見直しを重ねています。  
(さくら保育園)

ここが  
**大切!**

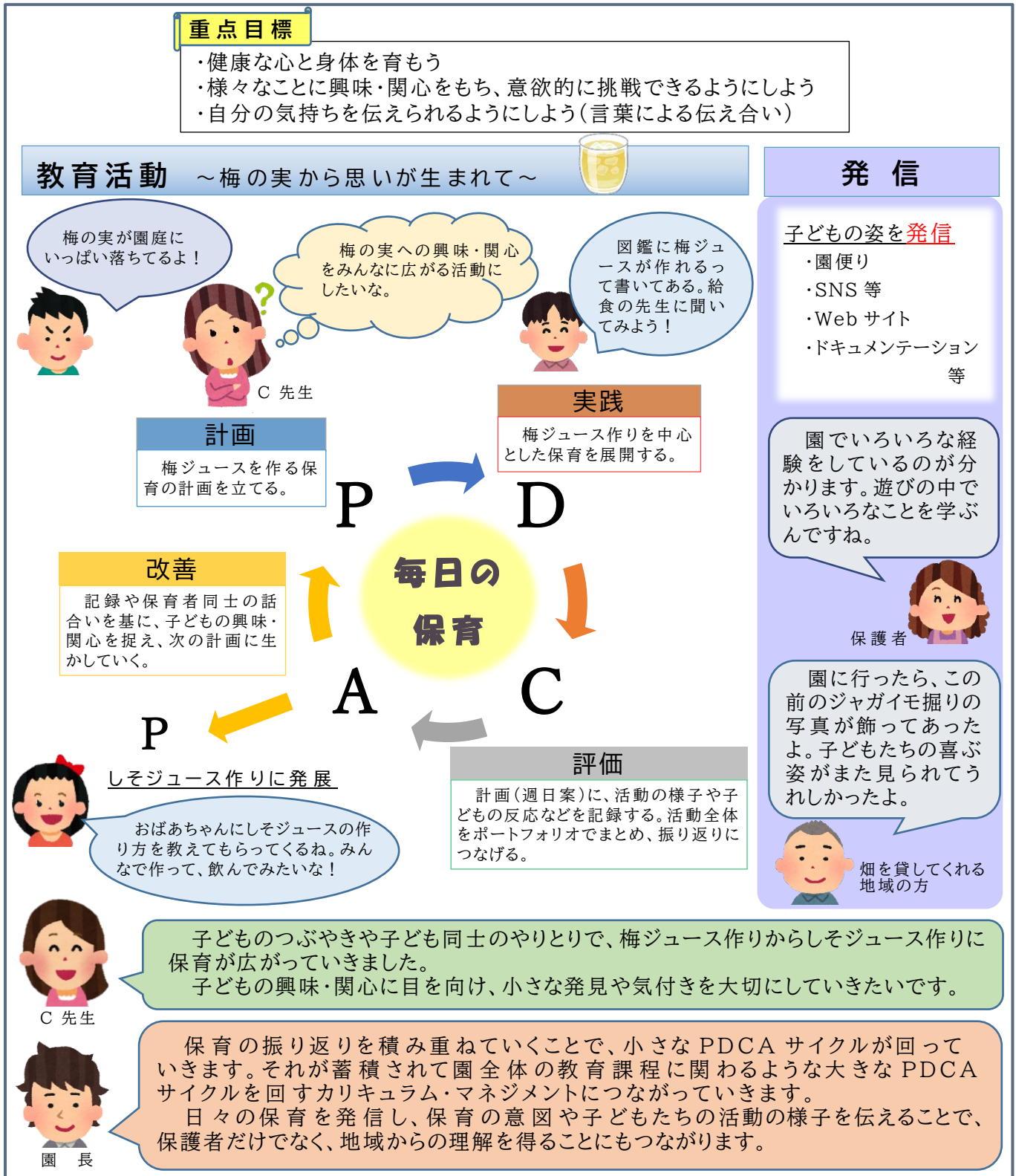
文部科学省「幼稚園における学校評価ガイドライン〔平成23年改訂〕」に評価項目等を検討する際の視点が示されており、参考になります。自園の実状に応じた評価項目を精選し、設定することが大切です。



### 3 重点目標を意識した教育活動の実施

教育活動の実施において、重点目標を念頭におき、日々の保育の指導計画を立て、保育を展開していく必要があります。

あわせて、保護者や地域に園の取組を正しく理解してもらうためには、日々の情報発信が大切です。

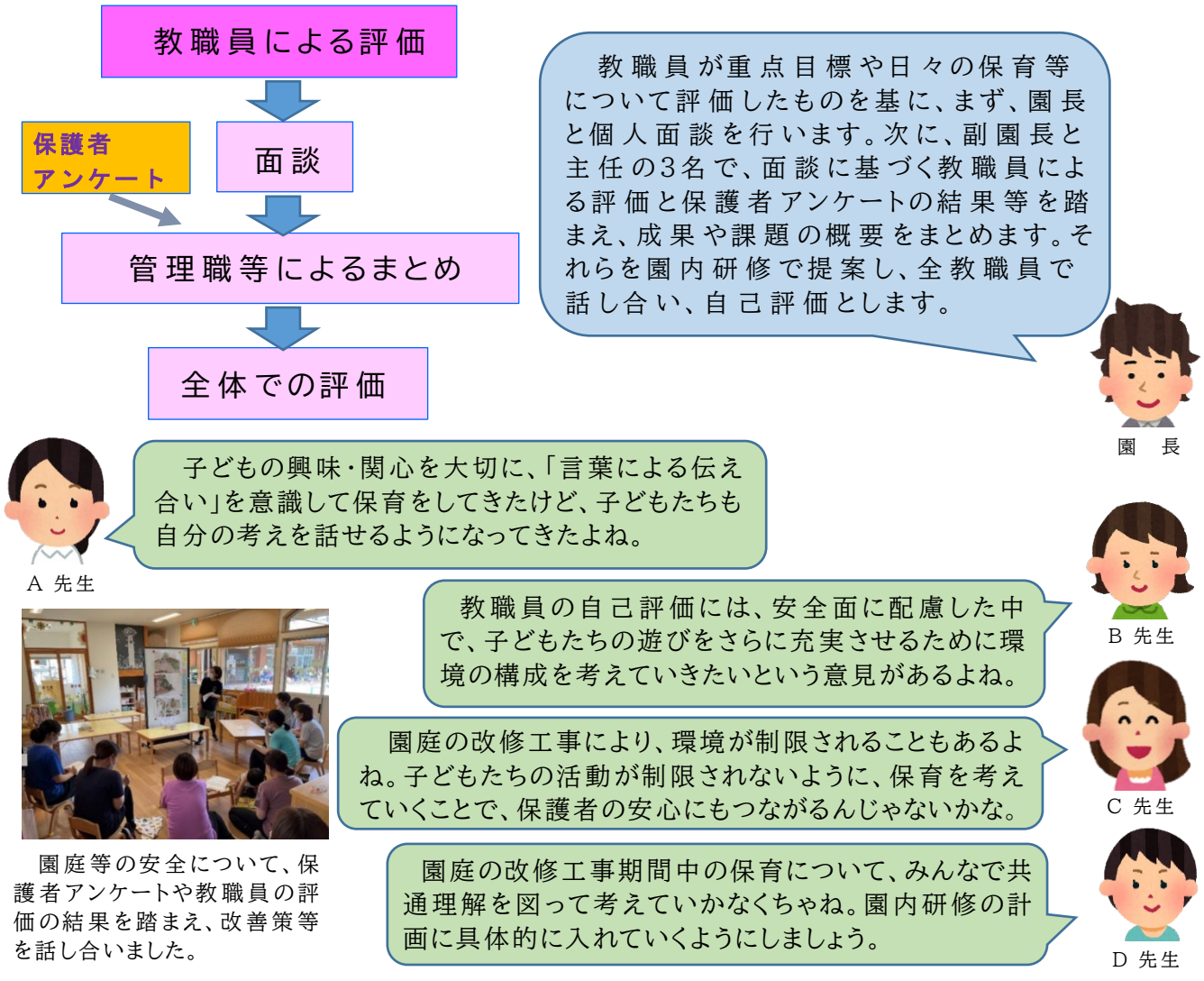


## 4 自己評価の実施、結果の公表

自己評価は園長や管理職だけが行うものではなく、園長のリーダーシップのもとで全教職員が参加して行う評価です。また、保護者等から寄せられた具体的な意見や要望、アンケートの結果等を活用することも有効です。

自己評価、または、学校関係者評価の実施後に評価結果を公表します。これにより、園のよさや課題が明らかになり、園の教育・保育の信頼性が高まります。また、園と保護者、地域がつながり、よりよい園運営を後押しします。

### ○ 自己評価実施の流れ ○



### 他園では！

自己評価の結果を年度末に Web サイトに載せて公開しています。また、保護者アンケートでいただいた意見に園からの返答を加え、お便りを配布したり、Web サイトで公開したりし、保護者と共に園の運営を進めていけるように努めています。 (那珂川町立ひばり認定こども園)

ここが  
**大切!**

教職員による評価の結果をまとめる際、評価にズレが生じることがあります。そのズレについて話し合い、お互いが保育の中で大事にしていることや悩んでいることを理解し、違いを受け止め、次の教育活動や園運営の改善につなげていくことが大切です。



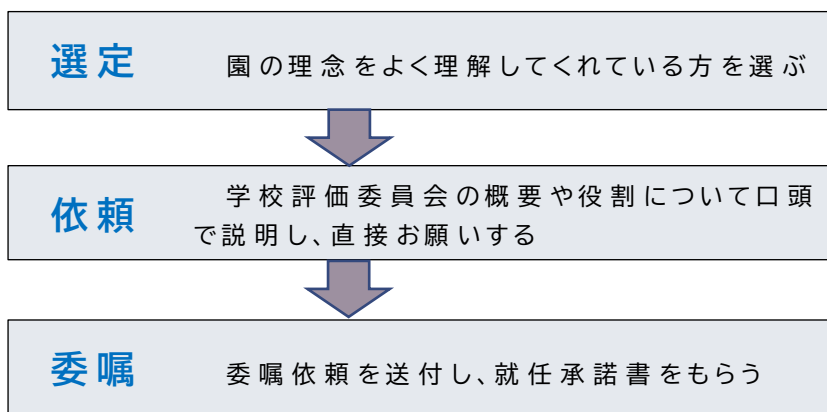
# 学校関係者評価

学校関係者評価は、自己評価の結果について評価を行うことを基本とします。学校関係者評価委員に意見を伺い、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、園の現状や課題、今後の方向性への共通理解を図ります。それらを次年度の計画に生かすことが重要です。

## 5 学校関係者評価委員の選定・依頼・委嘱

委員は、学校関係者評価を生かしたよりよい園づくりに向けて、有効な意見、建設的な意見を述べてくれる方に依頼することが大切です。

### ○学校関係者評価委員の委嘱までの流れ○



#### 令和○年度学校関係者評価委員

- ・近隣の小学校長
- ・自治会長
- ・園の協力業者
- ・元保護者会長
- ・保護者会長
- ・保護者代表(公募による)

#### 事務局

- 園長
- 副園長
- 事務長
- 主幹教諭
- 学年主任

長く地域に住んでいる方と新しく移り住んできた方が偏らないように気を付けました。任期は1年として、再任できるようにしています。



園長



B先生

昔遊びを教えてくれたりサツマイモ畑を貸してくれたりする地域の方が委員さんになってくれたって。

地域で子どもと関わってくれている方に委員さんになってもらえると、私たちも心強いよね。園を応援してくれる方を増やしていきたいな。



D先生

ここが  
**大切!**

学校関係者評価委員のそれぞれの立場や視点からの意見が、園にとって貴重な気付きになります。  
学校関係者評価委員は、園の協議会等の既存の組織を活用して、委員を兼ねてもらおうとも考えられますね。



## 6 学校関係者評価委員会の開催

学校関係者評価委員会では、教育活動の参観や意見交換等を行い、園の状況について委員の理解を深めます。会議の回数や開催時期は様々ですが、学校関係者評価の結果を園の経営計画に反映させるためには、3回程度の実施が望まれます。また、限られた時間内に効率的に会議を運営するためには、必要な資料を分かりやすく提示するなど工夫が必要です。

### 第1回 顔合わせ・概要説明（5月）

- 1 園長挨拶
- 2 委員の自己紹介
- 3 重点目標・教育活動について  
前年度の学校評価の結果も含め、園の現状や課題、今年度の重点目標と教育活動、評価項目と評価方法について説明しました。
- 4 学校関係者評価委員会の進め方について  
学校関係者評価の目的、園としての考え方、評価活動の実施方法などを説明しました。評価委員の参画意識が高まるように、分かりやすく伝えました。



重点目標について

スライドを使って説明することで、分かりやすく、委員さんの印象に残るようにしています。



園長

- 5 意見交換  
評価委員に情報が要領よく伝わるよう資料等を工夫しました。また、評価委員からの質問、意見をいただく時間を十分にとりました。



教育活動について

- 6 昼食（給食試食）  
リラックスして発言できる雰囲気づくりを心掛け、交流を深めました。給食を食べながら話すことで、フランクな話ができ、課題解決のヒントをいただけました。

子どもたちは収穫した野菜を給食で食べられることを楽しみにしているんです。



給食試食

### 第2回 保育参観（11月）

- 1 園長挨拶
- 2 保育者からの説明  
教育・保育の意図が伝わるように参観の前に保育のねらいや視点について説明します。  
当日の保育に至るまでの過程や子どもたちの様子について、事前に撮影した画像や動画を使って分かりやすく伝えます。その際、個人情報漏洩等がないようにお願いします。



保育者からの説明

- 3 保育参観  
参観は、午前中の1時間を目安に設定しています。日案、バインダー、筆記用具を準備しています。

小学校長

保育を見る視点を示してもらえたので、子どもたちの活動が分かりやすかったです。



保育参観



#### 4 意見交換

園の教育活動への理解を得られるよう、質問等に丁寧に答えました。  
また、園をよく理解してもらえるように、会議のときだけでなく普段から教育活動や園行事を見ていただけるようにしています。

保育参観をするとき、園長先生と一緒に見て説明してくれたので、保育の意図がよく分かりました。改めて先生たちの大変さが伝わってきました。



自治会長



園長

子どもたちの生活の様子、保育者と子どもの関わる様子などを実際に見ていただくことで、園の課題を具体的に考えてもらうことができます。委員さんの意見を取り入れることで、園の教育活動を振り返る機会となります。

#### 5 昼食(給食試食)Part2

給食についての説明を栄養士が行いました。また、園の特色の一つである食育活動について紹介しました。

### 第3回 自己評価の報告・検討 (2月)

#### 1 園長挨拶

#### 2 今年度の自己評価についての報告

自己評価の結果について、報告しました。  
園長から園運営に関わること、主任から教育活動に関わることを子どもたちの姿を含めて話しました。



自己評価結果の報告

#### 3 意見交換

園の取組の方向性や成果に対して、様々な立場からの意見をいただくようにしています。当日出席できない委員には、意見等を事前に文書で提出していただきました。

園内研修を行って、園全体で共通理解をして保育を進めてくださっていることが分かり、安心しました。



前保護者会長



評価委員から

#### 4 次年度の園の課題について

園の課題と今後の方向性についても含めて報告しました。  
次年度、園庭の改修工事を予定しているので遊び(保育)を充実させるための園庭の環境の在り方について、園内研修で教職員の話し合いを進めていることなども説明しました。

次年度の園庭改修時には、校庭を開放するので、遊びに来てください。



小学校長



園長

学校関係者評価委員からの意見を踏まえて次年度の計画を立てることで、より客観性が高まります。地域との協働的な活動につなげられるようにしていきたいです。

第1回委員会において、学校関係者評価委員となっていたいただいた地域の方などは、園での生活や学びについて馴染みが薄いことがあるので、始めに評価委員に幼児期の教育の特性について説明し、理解していただくことも大切です。

ここが大切!



## 7 評価結果のとりまとめ・公表、設置者への結果報告

自己評価を踏まえた学校関係者評価の結果については、園便りや保育参観、Webサイトなどを通して公表し、信頼され開かれた園づくりを推進していくことが大切です。このことが、家庭だけでなく地域や社会に開かれた、協働的な園運営につながります。

### 公表

保護者へは園便りで配布し、併せて園のWebサイトへ掲載する。

全ての結果をそのまま報告するわけではなく、内容を精選してダイジェスト版にして掲載しています。

### 報告

年度末の理事会にて報告する。

理事会での報告が設置者への報告になっています。



園長

公表により、園の理念や日頃の取組を知ってもらうことで、園と保護者や地域がつながり、よりよい園運営が進められる土台となっていきます。公表することで、何がその後の園運営につながっていくのかということを考えていくことが大切です。

ここが  
**大切!**



## 8 次年度の重点目標への反映

自己評価及び学校関係者評価によって明らかになった課題と今後の方向性を次年度の重点目標に生かします。PDCA サイクルを意識することが、園全体、全教職員で学校評価の意義を確認することにつながります。

	課題	今後の方向性
1	安全管理 ～健康な心と体を育む～	終息が見通せないコロナ禍にあり、継続した取組は必要である。いつも同じではなく、心や体の変化にも気付き、環境との関わりを考える園内研修を取り入れていきたい。
2	園庭環境 ～遊ぶことへの意識～	園庭遊具の耐用年数を見据えて、園庭改造を計画していることから、子どものための環境としての在り方を遊びを通して考えていきたい。
3	地域連携 ～広げること～	地域のイベントや集まりがなくなっていることへの危惧がある。感染症の流行の状況により、極力実施するような計画を立てる。園を中心に再構築し、新たに創生していきたい。

### 次年度の重点目標

- ・健康な心と身体を育もう
- ・園庭の環境を保育に生かし、子どもたちの遊びを充実させよう
- ・地域との交流を意識し、園から発信しよう

PDCAサイクルが機能すると、日々の保育が改善され、教育課程が充実することを実感しました。また、学校関係者評価を実施することで、一緒に子どものことを考え、園を応援してくれる方が増えたと感じています。



園長



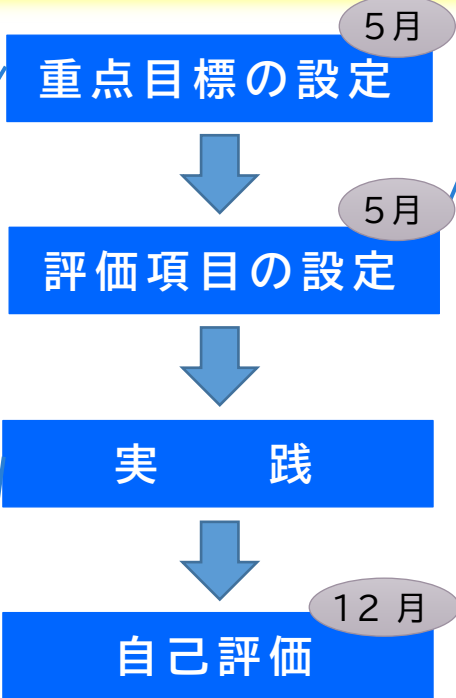
## Ⅲ 取組事例

# 那珂川町立ひばり認定こども園



全教職員で重点目標の設定、評価項目の設定などを行い、自己評価を実施しています。  
家庭や地域に、園の教育・保育について知ってもらうために、保育の情報発信に力を入れています。

重点目標の設定は、全教職員で集まっての検討会は難しいので、事前に前年度の自己評価結果を基に個々の意見を紙面で提出してもらい、そこから園長、主幹保育教諭、学校評価担当で設定するように工夫しました。  
今年度は園の保育を家庭や地域に知ってもらうことが大切ということから、「園児の学びを家庭へ伝えていき、教育・保育目標の共通理解をすること(重点目標①)」を重点目標の一つにしました。



評価項目の設定では、全教職員で集まって検討する機会を設定し、付箋紙を使って、意見を見える化しながら進めました。  
重点目標①に関連する評価項目として、  
・教育・保育目標の周知と共通理解  
・園児の理解に基づく評価  
・家庭教育促進のための取組の三つを設定しました。



教育・保育目標の捉え方やその時期の学びについて、学級便り・Webサイト・ドキュメンテーション等で家庭や地域に発信しました。  
また、保育参観やクラス懇談でも、こども園での学びについて話し合う機会を設けています。

行事についてのアンケート等、保護者からの声や親子の関わりの変化などから園の取組を客観的に見つけ、それを次の取組に生かしています。

年度当初から家庭に教育目標の捉え方について発信を続けました。保護者と園児との関わりの様子から、教育目標の理解が進んでいることが感じられました。

**発信を続けたことで (エピソード)**

学級で飼育していたカエルが死んでしまい、子どもたちはお墓をつくりました。  
翌日、お墓には花束が添えられていました。家庭での親子のやりとりが目に浮かびます。発信を続けたことが子どもとの関わりについて園と家庭で同じ方向性をもつことにつながりました。



## 学校関係者評価の実施に向けて

学校関係者評価の実施に向けて、保護者や小学校教諭、地域の方等、評価委員の検討をしています。自園の保育を理解し、保育の質向上への取組を応援し、強い味方になってくれることを願って評価委員の選定をしています。

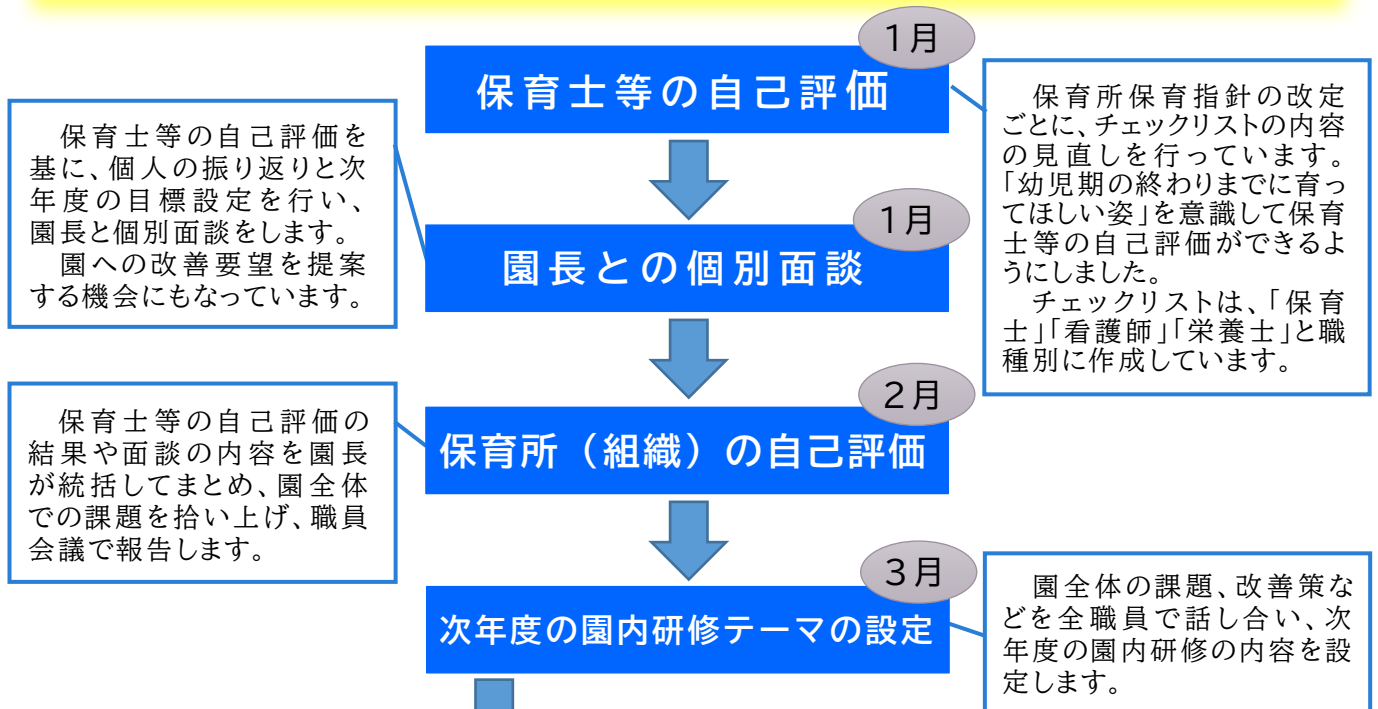
発信を通して、園の教育・保育目標や保育の意図を保護者に理解してもらうことで、園と家庭との連携が進みますね。



# さくら保育園



自分の保育を振り返るために、「さくら保育園スキルチャート」を使って、保育士等の自己評価を行っています。それを踏まえて、保育所（組織）の自己評価を行います。そして、次年度の園内研修のテーマを決め、実施しています。



## 4月～ 園内研修の実施

子どもの育ちを支えるために、心の安定に着目しました。愛着形成の重要性に目を向け、研修を実施しています。

### ☆研修内容☆

- ・育児担当制
- ・愛着、アタッチメント
- ・ベビーマッサージ



### 全職員で課題を共有したことで

園内研修で「育児担当制」について理解を深め、令和3年度から少しずつ取り入れました。担当制にしたことで、担当保育士が子どもにじっくり寄り添うことができ、一人一人の子どもが安心した園生活を送ることができています。また、日々の子どもの様子や変化など、保護者と経過を追って話ができるようになりました。

隔月で担当制の経過報告会を行っています。改善点等を話し合い、日々の保育につなげていきます。

## よりよい評価に向けて

「さくら保育園スキルチャート」の評価項目を全職員で読み込み、話し合うことで、保育士の経験年数や担当クラスによる評価の違いを埋めていけるようなチェックリストにし、さらに自己評価を保育の質の向上につなげていけるように検討しています。また、課題ばかりではなく、園の強みにも目を向けて評価していけるようにしたいです。

園長先生のリーダーシップの下、園の課題等を対話により明らかにしながら、園内研修につなげることで、保育の質の向上を図るサイクルを確立していますね。



## 参考文献

- ・文部科学省「幼稚園における学校評価ガイドライン〔平成23年改訂〕」平成23年11月15日
- ・厚生労働省「保育所における自己評価ガイドライン(2020年改訂版)」2020年(令和2)年3月
- ・公益財団法人日本私立幼稚園幼児教育研究機構「私立幼稚園のための学校評価ガイドブック」(2020)
- ・公益社団法人全国幼児教育研究協会「実効性のある学校評価の実施に向けて～幼児教育の質向上につなげる学校評価ガイドブック～」(2021)
- ・神長美津子・天野珠路・岩立京子『『保育の質』を高める園評価の実践ガイド』ぎょうせい(2011)

## 付 録

本冊子内で記載している認定こども園愛泉幼稚園の資料を栃木県幼児教育センターWebサイトに掲載しています。各園での取組の一助として御活用ください。



### ○[認定こども園愛泉幼稚園学校関係者評価委員会資料\(Word\)](#)

- ・事前
- ・学校関係者評価委員会
- ・事後



※協力園の承諾を得ています。

### 令和4(2022)年度 幼児教育調査研究委員会

#### < 研究協力園 >

認定こども園愛泉幼稚園

#### < 委員 >

認定こども園愛泉幼稚園

那珂川町立ひばり認定こども園  
さくら保育園

保育教諭  
保育教諭  
保育教諭  
主任保育士

石島あさみ  
齋藤敦子  
星将司  
佐藤史子

#### < 事務局 >

栃木県教育委員会事務局義務教育課  
栃木県幼児教育センター







「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価  
～PDCA サイクルが機能する実践から～

令和5(2023)年3月発行  
栃木県幼児教育センター  
栃木県総合教育センター幼児教育部

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070  
Tel:028-665-7215

URL:<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji>